

地域の防災～今何をしたらいい？

- 十分に知識を得ることができた。
- 大変良かったです。先生のお話を今後の役に立てたいと思います。
- 難しそうな話を分かりやすく話してもらえた。
- 防災について学べて良かったです。
- 将来起こるであろうさまざまな災害に対して、もっと真剣に備えをしていかなければと思った。
- いつあるか分からない災害についてどう対応していくべきか。日ごろから自分の周りの人たちと話し合いながら、準備できることから行動したいと思いました。



- 災害に対する事前準備等に関心を持ち続ける。
- 日本全国すべて危ないところです。危ないところという表現は問題あるのでは？
- 台風15号が昨日来たばかりで防

災は他人事と思っていましたが、備えは大事だと痛感しています。

- 前半は大学の講義のように思えて、内容が理解できなかった。
- 身近に起きる災害に対しての対策の仕方など、改めて考える時間を作りたいと思った。
- 講義の内容が幅広すぎて、少し難しい。もう少しポイントを絞ってお話してほしいと思った。
- あま市は低地なので避難経路を確認しておきたいと思います。
- 普段お目にかかるような先生ではないので身の引き締まる思いでした。認識不足、心がけ不足の実感ばかりでした。
- グリーンインフラは重要だと思う。私たちの若いときは田畑が多く、雨がたくさん降っても田が水を収めてくれた。
- 少し難しめでしたが、熱心に講義してくださいました。



防災への関心も高まり、避難指示の5段階について調べてみたいと思います。



- 災害に対する注意事項等意識の中心にしなければと考えさせられました。
- 自分は大丈夫と思っていたことが恥ずかしいです。いつ起き

てもいいように危機管理をしっかり進めていきたいです。

- 内容が広すぎるため、ポイントをまとめてお話しくださるとよかった。

気分は名工大生

SILVER COLLEGE NEWS
シルバーカレッジ
新聞

発行元:シルバーカレッジ
事務局/教育部生涯学習課(美和公民館)

九月六日(土)は、名古屋工業大学の秀島栄三教授を講師にお招きし、自然災害に直面したとき自分ができることについて学びました。「被災することを想像してみる」として、「減災」「自助」の立場から自分にできることを考えて、熱心に講義を受けることができました。グループ討議では、東海豪雨のスライドから三つの課題が与えられ、自身の体験談を交えながら発表を行い、非常時のことを自分事として考える授業となりました。